

2012
6/2 (土)

gid.jp シンポジウム in 大阪 2012

『理解が広がる性同一性障害 と当事者のこれから』

会場:ガクトホール

～当事者や当事者団体に何が求められるのか～

特例法の制定以来、性別の変更者数が2000人をこえ、性同一性障害は多くの人々に知られるようになりました。過去から現在まで当事者像も多様になり、当事者の思いと世間の理解している当事者像に差異が広がっているとも指摘されています。今回は、それぞれの立場から、性同一性障害の当事者や当事者を取り巻く様々な方々の姿を長らく見続けてこられた研究者や当事者をお招きし、最近の当事者像の変化や社会の認識等についてご講演をいただき、これから私たち当事者はどうすればいいのか、当事者団体はこの変化にどのように対処すればいいのか、パネルディスカッションで意見交換をしていただきます。

プログラム

12:30 ~	開場・受付開始
13:00 ~ 13:05	開会・諸注意
13:05 ~ 13:35	講演1 山本 蘭氏
13:35 ~ 14:05	講演2 鶴田幸恵氏
14:05 ~ 14:15	休憩
14:15 ~ 14:45	講演3 土肥いつき氏
14:45 ~ 15:15	講演4 三橋順子氏
15:15 ~ 15:30	休憩
15:30 ~ 17:30	パネルディスカッション・質疑応答
17:45	閉会
18:30 ~	懇親会

※開催時刻、プログラムは変更になる場合がございます。

開催日 2012年 6月2日 (土)

定員 100名 ※ご予約は不要です。席は先着順となります。

参加費 一般 1,500円
高校生以下無料(学生証又は公的証明書をご提示ください)

参加資格

性同一性障害の当事者、ご家族、ご友人、支援者、医療関係者、行政関係者、教育関係者など、性同一性障害にご理解のある方、興味・関心をお持ちの方。

※取材を希望される方は、必ず事前にご連絡ください。

注意事項

- ※ シンポジウムは一般公開です。参加者は、各自でプライバシー保護にご注意ください。
- ※ 会場においては、係員の指示に従ってください。
- ※ 他の参加者に迷惑や不快となる言動を行われた場合、退場していただく場合がございます。
- ※ 許可無く、会場内での撮影や録音は、お断りいたします。

懇親会

シンポジウム終了後、会場を変えて懇親会を行います。参加費が別途(3,500円程度)必要となります。懇親会参加をご希望される方は必ず事前に以下宛にメールでお申込みください。

meeting-kansai@gid.jp

会場

梅田ガクトホール大会議室
大阪市北区梅田2-6-20 パシフィックマークス西梅田14階
TEL:06-6346-0569(場所の問い合わせのみ可)
JR大阪駅より徒歩15分、JR福島駅より徒歩 5分

講演者の皆様

三橋順子(みつはし じゅんこ)氏

都留文科大学・明治大学非常勤講師
性社会・文化研究者

1955年、埼玉県秩父市生。性社会・文化史研究者。都留文科大学・明治大学・東京経済大学・群馬大学医学部非常勤講師、早稲田大学ジェンダー研究所嘱託研究員、国際日本文化研究センター共同研究員。専門はジェンダー／セクシュアリティの歴史、とりわけ性別越境(トランスジェンダー)の社会・文化史。著書に『女装と日本人』(講談社現代新書 2008年)、共著に『性の用語集』(講談社現代新書 2004年)、『戦後日本女装・同性愛研究』(中央大学出版部 2006年)、『性的なことば』(講談社現代新書 2010年)。主な論文に「往還するジェンダーと身体—トランスジェンダーの経験—」(講座・身体をめぐるレッスン第1巻『夢見る身体Fantasy』岩波書店 2006年)など。

鶴田幸恵(つるた さちえ)氏

千葉大学文学部行動科学科社会学講座 准教授
博士(社会学)・専門社会調査士・GID学会理事

土肥いつき(どひ いつき)氏

京都府立高校教員
全国在日外国人教育研究協議会事務局
セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク 副代表

山本 蘭(やまもと らん)氏

一般社団法人 gid.jp 日本性同一性障害
と共に生きる人々の会 代表



主催 一般社団法人 gid.jp 日本性同一性障害と共に生きる人々の会

関西支部 e-mail info-kansai@gid.jp 本部 〒141-0031 東京都品川区西五反田2丁目6-3 東洋ビル2F
Tel. 03-3492-6071 fax. 03-6420-3176
ホームページ <http://gid.jp> e-mail info-center@gid.jp